

世界中で小笠原諸島にのみ棲んでいるミツシイの仲間の鳥。日本ではミツシイの一種のみ、大きさはスズメより一回り大きい全長約30cm。目の周囲の黒色斑があるでのこの名がつけられた。戦前は小笠原諸島の父島、父島母島、向島、鳩島、煙島などから記録されているが、現在確認されているのは母島、向島、妹島だけ。森林に棲み、昆蟲や木の実を食べている。



特別」かついた
天然記念物たち

のアカガエルが産卵をはが終わるともう一度、冬眠に

建築物や美術品など人工の文化的な遺産でいえば、「重要文化財」とか「国宝」呼ばれるものに当たる、といえるでし

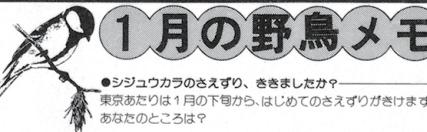
できたのは、背景に豊かな自然があればこそであり、哺乳動物や鳥たちは、その自然の豊かさの代表、といえるわけで、天然記念物の動物を守つていくことは、自然

財團法人日本鳥類保護連盟
サントリリー株式会社



- ニュー・イヤー・カウントをしよう——
野鳥を数えることは、野鳥の研究や保護の対策をたてるのに必要です。そこで、数をかぞえる習慣は1月から。神社やお寺の池のカモ、公園の冬鳥、自宅から駅までの道

のスズメ、電車の沿線のカラス、などなど、いろんな場所のいろんなトリたちを毎年統計で数えているうちに、環境の変化もつかめるようになりますよ。



1月の野鳥メモ

- 黄道光が見えます
1月下旬、日没後、西の空の太陽が沈む場所を中心に、ぼーとタテ長の三角形の夜空が光る。これが黄道光です。

鳥を中心として、天然記念物を規定する法律として、1967年6月に制定された。この法律によると、天然記念物とは、生物の種類や生態、繁殖、行動などの観察価値があるもの、または、その生息地が、生物の生存に必要なものであるものと定められている。また、文化財保護法では、文化財の保護と利用のバランスを考慮して、文化財の保存と利用の両面から保護が行われている。

現在までに、国が指定した天然記念物は、動物関係で187件、植物関係で22件がある。そのうち、特別天然記念物は、島でいえば、この国のほかアラホウドリ、タチバナ、コウモリ、ライチョウなどの個体、哺乳動物では、アマニクワガタ、カワウなどです。

天然記念物——何となく大切なひと
いう感じとしても、正式にはつきりしな
い言葉のようだ。と思う方も多いでしょう。
鳥を中心として、天然記念物を規定する法律として、1967年6月に制定された。この法律によると、天然記念物とは、生物の種類や生態、繁殖、行動などの観察価値があるもの、または、その生息地が、生物の生存に必要なものであるものと定められている。また、文化財保護法では、文化財の保護と利用のバランスを考慮して、文化財の保存と利用の両面から保護が行われている。

現在までに、国が指定した天然記念物は、動物関係で187件、植物関係で22件がある。そのうち、特別天然記念物は、島でいえば、この国のほかアラホウドリ、タチバナ、コウモリ、ライチョウなどの個体、哺乳動物では、アマニクワガタ、カワウなどです。

天然記念物——何となく大切なひと
いう感じとしても、正式にはつきりしな
い言葉のようだ。と思う方も多いでしょう。
鳥を中心として、天然記念物を規定する法律として、1967年6月に制定された。この法律によると、天然記念物とは、生物の種類や生態、繁殖、行動などの観察価値があるもの、または、その生息地が、生物の生存に必要なものであるものと定められている。また、文化財保護法では、文化財の保護と利用のバランスを考慮して、文化財の保存と利用の両面から保護が行われている。